

## 平成20年度シルバー110 番の相談状況

# 久しぶりに 1700件台に



平成20年度の高齢者や家族の方がたなどからの相談状況は次のとおりでした。  
前年度より204件増加の1,740件で、平成16年度以来の1,700件台でした。

### ▼相談件数

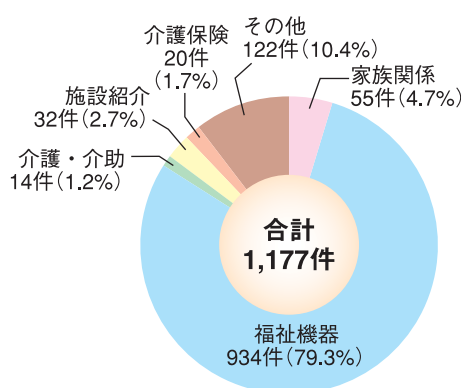
区 分	18年度		19年度		20年度	
	相談 件数	構成比 %	相談 件数	構成比 %	相談 件数	構成比 %
老人福祉全般	906	59.4	987	64.2	1,177	67.7
経済・生活	103	6.7	92	6.0	103	5.9
法 律	451	29.6	399	26.0	383	22.0
保健・医療	65	4.3	58	3.8	75	4.3
いきがいつくり	1	0.0	0	0.0	2	0.1
合 計	1,526	100.0	1,536	100.0	1,740	100.0

### 項目別相談状況

相談内容を項目別にみますと「老人福祉全般」が1、177件で最も多く、次いで「法律」が383件ですが、この2つで全体の約9割を占めています。

また、相談を医師・弁護士・福祉機器相談員などによる「専門相談」とその他の「一般相談」に分類しますと、「専門相談」が1、057件で約6割、「一般相談」が683件で約4割となっています。

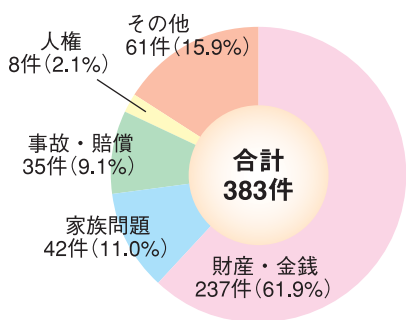
### 老人福祉全般



最も相談の多い「老人福祉全般」

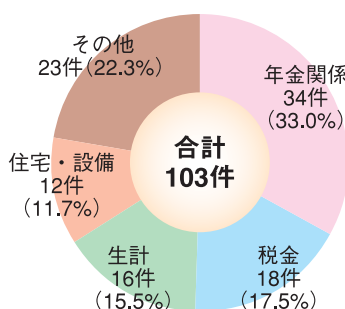
の中では、在宅介護の推進に欠かせない「福祉機器」に関する相談が934件で約8割を占め、「家族関係」55件、「施設紹介」32件となっています。

### 法律



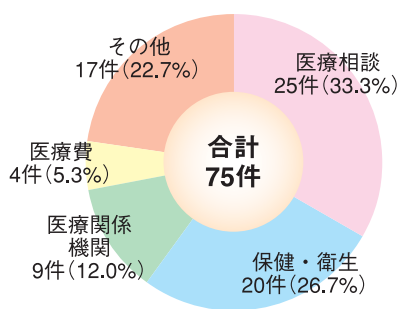
これまで同様、相続や借金など

### 経済・生活



に関する「財産・金銭」が237件で約6割強を占めています。件数でみますと前年度より35件減少しています。

### 保健・医療



医師による「医療相談」が25件で13を占めています。

「年金関係」が34件で最も多く、「税金」18件、「生計」16件となっています。